

## 通常の学級と特別支援学級との 交流及び共同学習

### 通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習とは

校内の通常の学級の子どもたちと特別支援学級に通う子どもたちとの交流及び共同学習の形態です。

小・中学校では、同じ学校の中で共に学ぶことができる環境を生かし、日常的に通常学級の子どもたちと特別支援学級の子どもたちの交流及び共同学習が行われています。



社会科見学で消防署を訪問し、説明を聞く子どもたち

(例) 消防署見学

<通常の学級>「社会科」

(ねらい) 消防や防災、救命・救助のための工夫や努力を理解する。

<特別支援学級(知的障害)>「生活単元学習」

(ねらい) 友だちと協力して働く乗り物を調べ、学習発表会で発表する。

#### 【教科学習】

それぞれの在籍する学級の教育課程に位置づけて、子どもの実態に応じたねらいを設定します。

#### 【学校行事】

集団規模や環境に配慮し、子どもの活躍できる活動を設定します。また、役割を分担し、友だちと協力して活動します。

#### ●留意点

交流及び共同学習を実施する場合は、特別支援学級における授業時数とのバランスをはかり、適切な時数を設定します。

## 地域の人々とふれ合う交流及び共同学習

### 地域の人々とふれ合う交流及び共同学習とは

特別支援学校または、小・中学校の特別支援学級に在籍している子どもたちが、地域の人々と行事等を通じて行う交流及び共同学習の形態です。

子どもたちにとっては、地域の人々の関わりの中で、あいさつやお礼、手伝いなどを自分から進んで行う体験を重ねることで、社会の中で生きる力を高めることにつながります。



地域行事に参加して作業製品の販売を行う高等部生徒



地域住民と一緒に公園の清掃活動を行う高等部生徒

地域の人々との交流及び共同学習は、地域の人々に、障害のある子どもたちへの理解を深めてもらう機会となり、すべての人が共に生き生きと活動する社会づくりへとつながります。

#### ●活動の例

- ▶ 美化活動(花の植え替え、清掃など)
- ▶ 学校行事(運動会、文化祭など)
- ▶ 販売学習(農園で育てた野菜や花などの販売)